

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと (仮)」設立準備会実施計画 (案)

ピースくまもと設立準備事務局会

1 趣 旨

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちピースくまもと設立準備事務局会は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の大切さ認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺跡の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。

本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、次の三つの柱から、いま熊本に戦争と平和のミュージアムが必要だと痛感しました。

(1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承したい。

(2) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学びたい。

(3) 次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”事を進めていきたい。

今回このように、私たちは設立骨子(案)等を取りまとめ、熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと (仮)」設立準備会を発足させます。

2 日 時：平成30年5月13日(日)午後2時から4時半頃まで

3 場 所：熊本県民交流会館「パレア」第1会議室・124人

4 概 要

(1) 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作

(2) 「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと (仮)”
設立準備会について

準備会設立の経緯、骨子(案)、事務局会体制

……ピースくまもと設立準備事務局長 高谷和生

(3) 意見発表

①「熊本空襲を未来に継承する(仮)」

〇〇(新老人の会)

②「熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ(仮)」

〇〇(フォーラムくまもと)

③「次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”戦時資料(仮)」

宇城市 上村真理子さん

[休憩・会場づくり]

(4) ワークショップ・意見交換 テーマ「ピースくまもと (仮)」に望むこと
当日参加者で小グループを編成。各班の進行・記録等は事務局関係者で行う

(5) 設立準備会の発足議決

……ピースくまもと設立準備事務局次長 久米野安俊

(6) 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 安藤富士記

5 その他・準備等

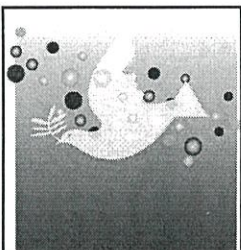
○上村さん戦時資料や県内戦争遺跡の紹介パネル、戦時証言・体験集の展示を行う。

○上村さん他の発表資料、受付名簿・班編制表、PC、プロジェクター、スクリーン借用

○参加案内、参加体制、報道案内 他



青い目の人形「ベティ
ジェーン」八代鏡小



問い合わせ先・連絡先
ピースくまもと設立準備事務局会

高谷和生宅 〒865-0061 玉名市立願寺126-5

個人携帯 090-1513-5528

久米野安俊宅 〒861-2234 上益城郡益城町古閑312-2

電話 096-221-5113

三隅康資宅 〒860-0822 熊本市中心区本山町106 1107

個人携帯 080-5210-9649